

商 工 会 報

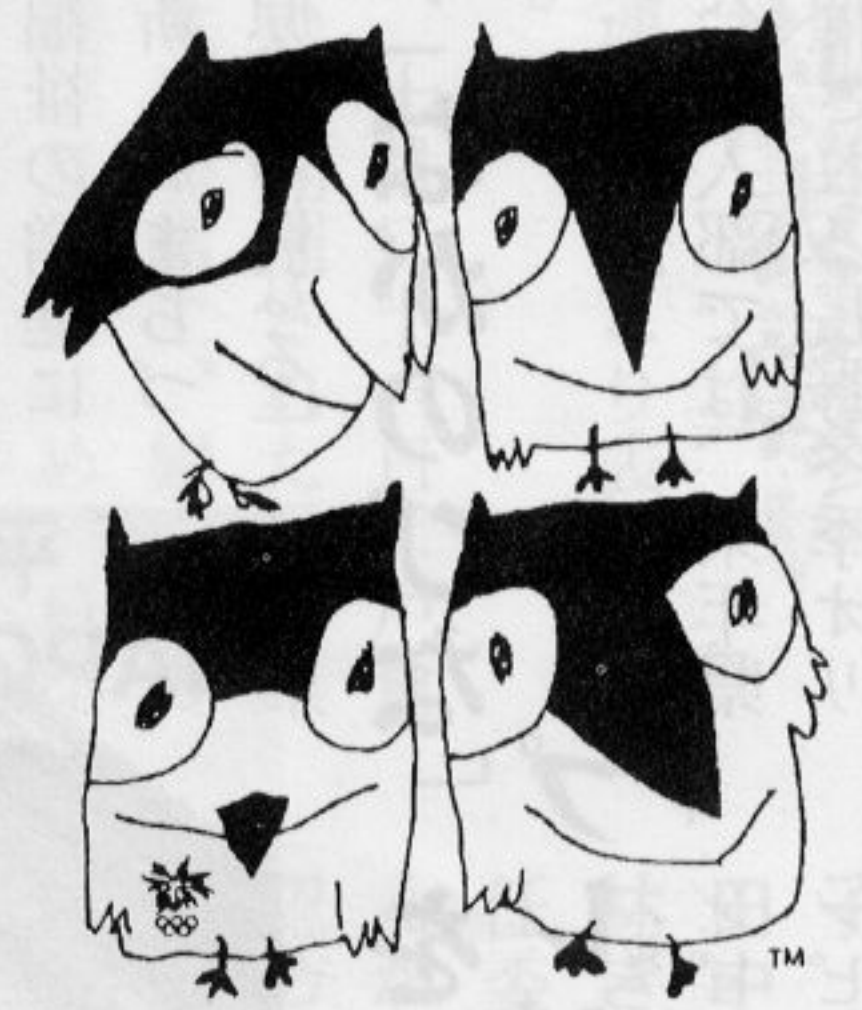
第 40 号

あ ち

発行 阿智村商工会 43-2241
編集 会報編集委員会
印刷 龍共印刷(株)



ふゆとともだちになって
せかいじゅうの人にいたいな



SNOWLETS
スノーレッツ

©1993 NAOC NAOC 7-287

長野オリンピック開催期間
1998/2/7~2/22



「ながのびな」
長野冬季オリンピックの選手・役員に
贈呈する婦人部手づくりのマスケット

◆ 特集

阿智村の健康があぶない..... 4 ページ

◆ シリーズ

我が家の秘蔵写真「中関からす乃湯」..... 6 ページ

目前にせまった 長野オリンピック冬季大会

91年6月のIOC総会で、長野市開催が決定した第18回冬季オリンピック。
キャッチフレーズは「自然と調和」自然環境と最新テクノロジーの共存した冬季オリンピックを目指している。
その世界的高揚の中、阿智村商工会では、青年部・婦人部を中心に、積極的支援活動が行われている。

青年部

パラリンピックに 福祉自動車を

オリンピック・パラリンピックの本番が間近に迫り、緊張感が日増しに強くなってきています。

県青連では「何か協力できることは」とオリンピック協力研究会で研究していただいたところ、NAPOCでは、自由に使うことのできる車輛が一台のみという実情を知らされました。

そこで、長野県で開催されるパラリンピック成功を願い、

また、開催県の一員として取り組まなければならない重要な問題と全県商工青年部員の認識のもと、

NAPOCに福祉自動車を贈呈しました。青年部の誓いの言葉のひとつに「社会一般の福祉の増進に努め、新しいまちづくりの原動力になる」

とあります。この「こころ」を忘れずに次の世代を守ってゆきたいと思うとともに、今回のオリンピック・パラリンピックの成功を心からお祈りいたします。



婦人部

「ながのびな」を プレゼント

商工会婦人部では、来年度内で開催される長野冬季オリンピック・パラリンピックの選手へ

オリンピックの成功を念じ視察

経済部長 田中嘉治

阿智村商工会チャレンジ21行動計画の準備期間の大きな事業の一つとして、総務・厚生・経済三部合同で、十月二十六日、二十七日と、一泊二日の視察親睦旅行を実施しました。目的地は、完成した長野冬季オリンピック会場。

出発時は好天に恵まれ、中央道(長野道経由で、ビッグハット(アイスホッケー会場)に到着。

その後、長野県にマッチした軽快な吊り屋根が山並みのように連なるエムウェーブへと。こちらは、スピードスケート会場(四〇〇米リンク)・パラリンピックの開閉式会場・アイススレッジスピードレース会場となっており、会場へ入って見上げると、さすがに長野県らしい木のぬくもりと優しさを感じる大空間が広がっていて、感嘆しました。

建築面積三一、三〇〇平方メートル、地下一階、地上三階。建物高さ最高四三米。観客席六、四〇〇席。駐車場屋外三〇〇台(バス六〇台を含む)、屋内約六〇〇台の施設概要です。

せっかく誘致した長野冬季オリンピックが、成功するよう念じながら会場を後にしました。



ビッグハットにて

バスが上信越道へ入ると、日本海側特有の気圧配置となり、雨模様様の天候となりました。

途中、上越市立水族館でマリングールによる餌づけショー等自由に見学し、宿泊場所である柏崎温泉に到着しました。

翌日、寺泊魚のアメ横で、日本の新鮮な海の幸を買い求め、バスのふところは、発泡スチロールの箱で満杯となり、帰路につく。外は、相変わらずの強風と雨でしたが、バスの中は飲物も入り、ビンゴゲーム・カラオケ等、終始盛り上がり、無事視察親睦旅行ができました。

婦人部だより

いつもながら事務局の方の万全な計画の元、充実した旅行が出来る事もあって、家人に「お母さんは、東京へ勉強に行ってくるで」と、前日から走り廻って準備万端。ドタバタと家を出発。かつて住んでいたなつかしの地、東京へとバスへ乗り込んだのです。

ベテランのガイドさん・運転手さんに身をまかせ、心うきうき、まず一杯二杯楽しい旅の始まりです。

都に入ってまず明治神宮へ参拝、NHKホールの近くで昼食。日曜日の渋谷は、人、人、人で田舎ぐらしの私には都へ来た実感がすごくありました。西部デパートを通り越し、むらからまちから館へ。

「むらからまちから館」は、特産品の展示・販路開拓支援センターとして全国商工

いざ研修旅行

みさか旅館 遠山喜久美

品が狭いスペースで、全国の特産品に、すきまなく展示されていました。また、旬の特産品フェア、地域ごとの名物や自慢の特産品フェアなど週替わりで楽しいイベントが開催され、連日多数の来客で賑わっていると、全国連の販路開拓部販路開拓課の根本さんが説明をしてくださいました。説明も上の空で「どれを買うか」そわそわと見て廻りましたが、地方の方のガンバリを見た気がしました。

これで勉強は終わりと、渋谷を後に浅草は仲見世へ。しっかり買い物をしてホテルに入りました。これからが最大の楽しみ、はとバスで夜のお江戸へ。夕食の後、おいらん道中のお化粧にうなづき、演芸ホールで生の寄席に感激しホテルへ…。でもせっかくのお江戸、四人で焼鳥屋へ寄り満腹・ホロ酔い・一日目はあっという間に終わりです。

二日目朝からバイキングで満腹、その後横浜へと走り出したバスが、段々となつかしい景色に近づいて行く。「あれ、両国」何とサービスの良い事で、ゆっくりと浜町・人形町、嬉しくて、感激。気分の良い中、今度は新しい海の景色、ランドマークタワーへ。四人で記念写真を撮り、最後の目的地中華街へ。中華料理を満腹に頂き、ラストチャンス、買物に時間ギリギリまで熱中しました。

バスの中もゲーム(賞品付)、カラオケ、ガイドさんの迷調子、にぎやかに過ごせた事。私には盛沢山のとても思い出深い楽しい旅でした。商工会婦人部の同行の皆様ありがとうございました。

役員の方へ、手づくり品を贈呈します。選手の活躍を祈念するとともに、出場を記念として、また、商工会婦人部活動を世界各国にアピールすることを目的としています。

平成四年の「県知事と語る会」で、オリンピック選手等に手づくり品をプレゼントしたいと提案。その後、県婦連理事会で、贈呈品は「目を使わずに手づくりびな」に決まりました。愛称については、募集、審査の結果「ながのびな」と命名されました。



「ながのびな」製作中の婦人部のみなさん

青年部だより

次世代へ向けて

大前 智宏

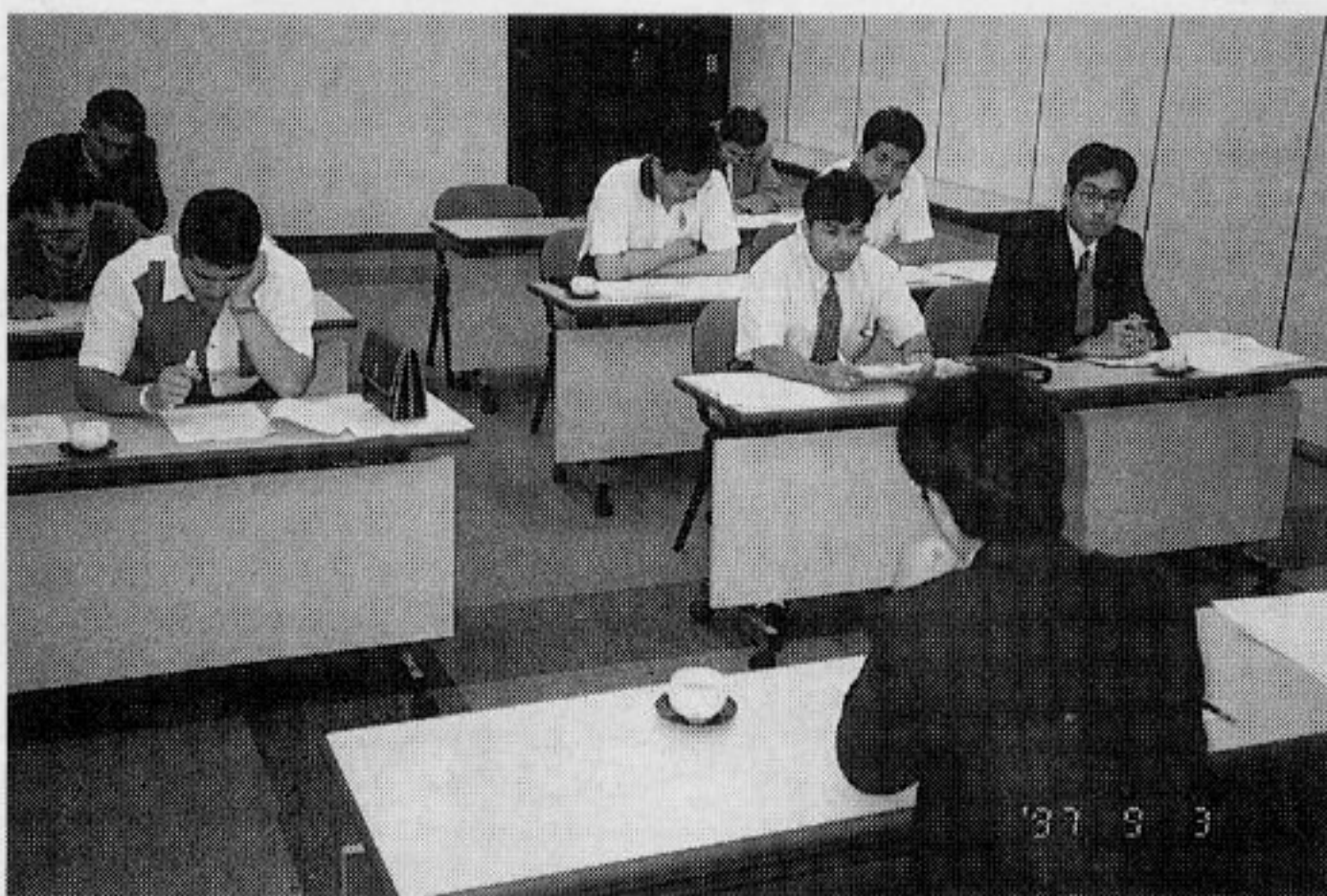
この度、九月三日～四日の二日間にわたり、阿智村商工会青年部の視察研修旅行に参加させていただきました。この研修旅行は、私にとって、とても意味深いものであり、また、思い出ともなりました。

業であるリニア見学センターで、お話を聞くことができました。時速五〇〇kmで、東京～大阪間を約一時間で結ぶという夢のようなこの乗り物。実感するとともに、あらためて感動しました。

まず、全国商工会連合会に行き、見学及び懇談会を行いました。その中で、ひとつひとつの商工会がしっかりとし、商工会全体が、強い組織であり続ける為に頑張っていること。また、商工会の歴史・役割と、これから私達自身

その後、モンデ酒造にて見学、武田神社参拝と、山梨巡りをして帰路につきました。短く感じた二日間ではありましたが、今回学んだことを参考にし、商工青年の一人として、次世代をリードしてゆけるよう頑張りたいと思います。

身が直接的にたずさわる事業の課題などを学び、短い時間の中ではありませんが、とても有意義な懇談会となりました。次に、話題の恵比須ガーデンプレイスで、麦酒記念館を見学し、作られたのビールを試飲しました。一行は、一路山梨へ。石和温泉で一泊。翌日、二十一世紀の大事



全国商工会連合会での研修

～保健婦は語る～

特集

阿智村の健康があぶない

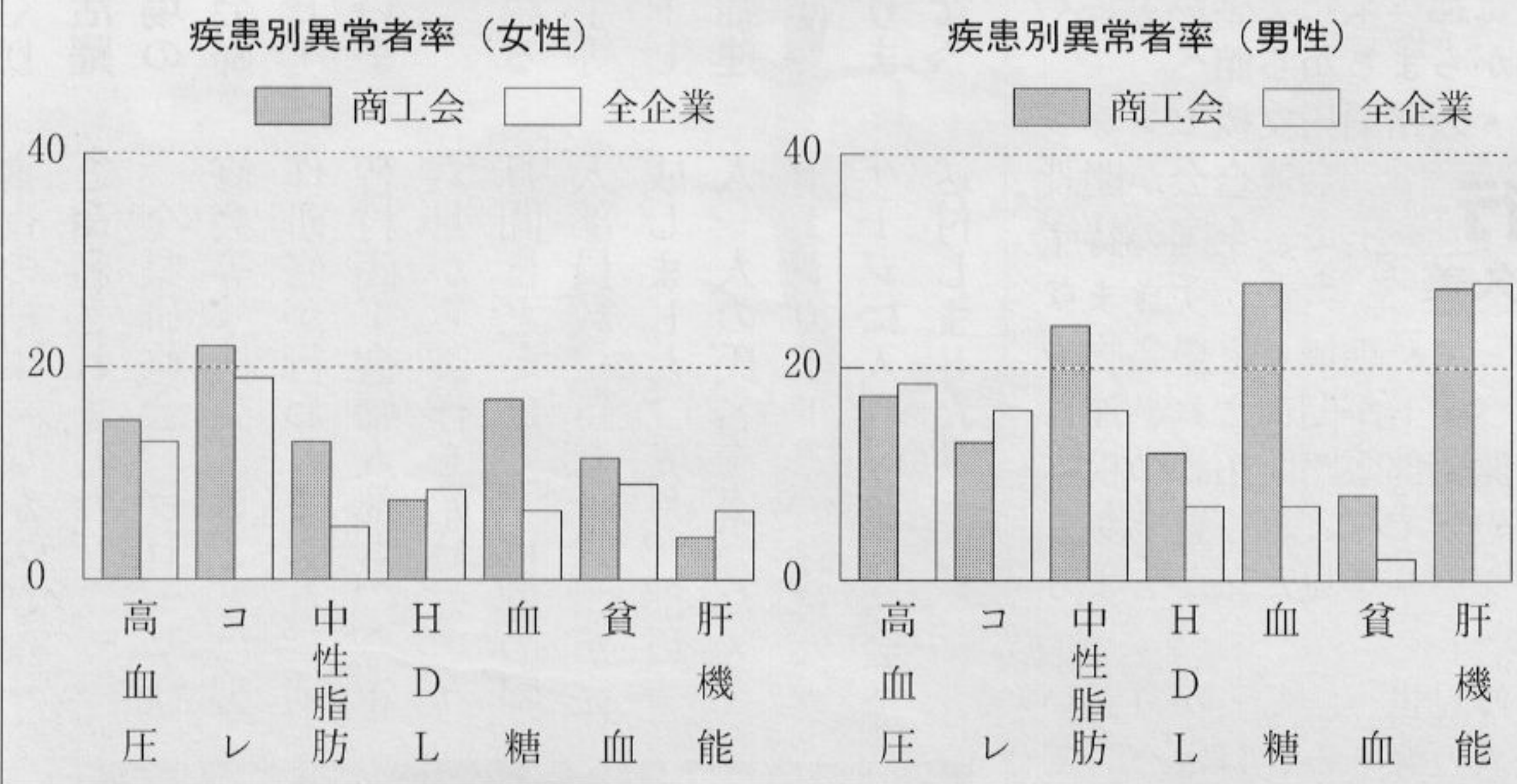
記 阿智村保健婦 菅沼弘子

七月の中頃に商工会健診がありました。受診された皆さん、結果はいかがでしたでしょうか。

今の生活を続けていけば、健康で十二分に力が発揮できそうですか。それとも、もう少しゆとりの時間をつくったり、食事をひと工夫した方が良さそうですか。

十一月五日には、保健センターで、再検査の必要の方（精密検査の必要な方以外）を対象に、血糖などの検査をしました。今回初めての試みでしたが、事業主の方々の御協力を頂き五十三人中十四人の方にきて頂きました。

飯伊地区と当村の男女別異常率比較



ポイント1 あなたの血管はだいじょうぶ？

阿智村の商工会健診の結果と、飯伊全体の企業健診の結果とを比べて、異常者の割合をみてみました。(グラフ)

すると阿智村は、男女とも中性脂肪や血糖の高い人の割合が多くなっていました。

中性脂肪とは血液の中のあぶらのことで、血糖とは血液の中の糖のことです。このあぶらや糖が多くなると、血管がドロドロして流れにくくなったり、血管が傷んだり、つまりたりしてきます。でもこの血管の変化は、自覚症状のないまま、徐々に進んでいきます。

ポイント2 ご飯を食べる気はしない？

商工会健診で栄養指導をされていた福岡栄養士さんとの話の中で、気になる点がい

くつかありました。

①栄養バランスへの知識や関心が薄い。

・食べものがファッション化している。

・おなかを満たされればよいという考えがある。

・栄養について聞く機会がない。

②食事の時間帯が不規則。

③ジュースを一日に何本か飲んでいて多い。(砂糖の一日必要量を、ジュース一本で摂ってしまう)。

健診にみえていた方が「夕食を食べるのは九時だから、ご飯を食べる気はしないし、食事を作る気にもなれない。だから、サラダやファースト

ポイント3 早めだったので検査だけで済んだ

商工会健診で要精密検査となり検査入院された方が、次のように語って下さいました。

「検査のため入院していたら知りあいの人に会った。その人は、糖尿病がひどくなつてから入院してきたので大変だったが、自分は早めに病院に来たので、検査だけで済んだ。でも、病院に行くように勧めてもらわなければ、多分行かなかつたと思う。だから皆さんにも、異常があったら早めに

フードを買ってきて済ませてしまおう」とおっしゃっていました。

私達のからだは、血糖値が下がると、脳の一部が刺激されて「おなかすいた」と感じます。脳は、血液の中の糖を使って働いているので、血糖値が下がると、仕事などの能力が悪くなつてきます。つまり、空腹感は「頭の働きが悪くなっているから、食事を摂って！」という合図でもあるのです。

勤務体制の違いなど困難な点もありますが、できる限り、体の自然な働きに合わせて食事が摂れるよう、お互いに心がけたいものです。

検査を受けるように勧めた

健診は、身体の一部のデータをとりあげて、それがどの程度正常か異常かをみるものです。だから異常値になった時には、身体全体がどんな風に病気の方向へ向かっているのか、精密検査を受けて確認することが必要です。

健診結果がC以上になったら、必要な検査が受けられるよう、お互いに心がけましょう。

青色申告と記帳代行のオススメ

青申会長 肥 後 吉 雄

今年も残すところわずかなり、一年のしめくくりの税金の心配をする時期が近くなりました。

私も以前、白色申告をしていた時は、この時期が本当にいやなものでした。私は、納税の時期に四回ほど税務署の青色「カンショウコーナー」に参加しましたが、白色で申告される方々は、顔色が違って見えるような気がしました。

青色申告は、はじめる前はたいへん難しく考えられているようですが、いろいろと有利な点もあり、納税の時期が来ても安心していられます。私が青色申告をはじめた時は、毎日出納帳をつけ、領収書の

整理をしておくだけで、商工会へ記帳代行をお願いしました。費用もたいへん安く、気軽に相談も出来、本当に安心して納税の時期をむかえることが出来ます。

近頃の景気の低迷な時期には、記帳をきちんとして、自己診断も特に必要と思われる



1日10分ラクラク記帳。1ヶ月分まとめて提出するだけ

コンピュータによる 記帳機械化システム

商 工 会

企業探訪

No.34

十字屋可杏茶館 昼 神 店

紅葉が見頃な11月下旬の青空のもと、社長の矢沢さんを訪ね、お話を伺いました。

- <代 表 者> 矢沢 孝俊
- <創 業> 昭和22年
- <資 本 金> 300万円
- <従 業 員> 9名 (昼神店 4名)
- <概 要>
 - ・全 席 45席
 - ・温泉設備
 - ・営業時間 9:30~17:00
 - ・定休日 金曜日

十字屋は、戦後まだ物資が十分にゆき届いていない昭和22年、現社長の矢沢さんが創立されました。



先代は運動用品店を経営されていたとのことで、喫茶店としてはゼロからの出発でした。

モットーは「おいしいコーヒー（本物）をつくること」その言葉のあらわれが、昼神店出店でした。矢沢社長は、コーヒーの為の良水を求め、伊那・駒ヶ根をはじめ各地を巡り歩きました。そしてたどりついたのが中央アルプスの水ガメである恵那山の麓、昼神の地でした。昭和53年、十字屋昼神店オープン。

また、昼神は温泉地ということもあり、温泉施設を併設。温泉設備付き喫茶店、十字屋のコーヒーは、味はさることながら、たぐいまれなコーヒーというわけです。

喫茶店を経営する傍ら、中国語の講師をされている矢沢社長。パソコンを使いこなし、CSテレビで海外の情報収集。「そんなバイタリティーの源は？」とたずねたところ、「商人だから」と熱く語ってくれました。



シリーズ 我が家の秘蔵写真 第23回

(有)中関からす乃湯
内田富雄さん所蔵

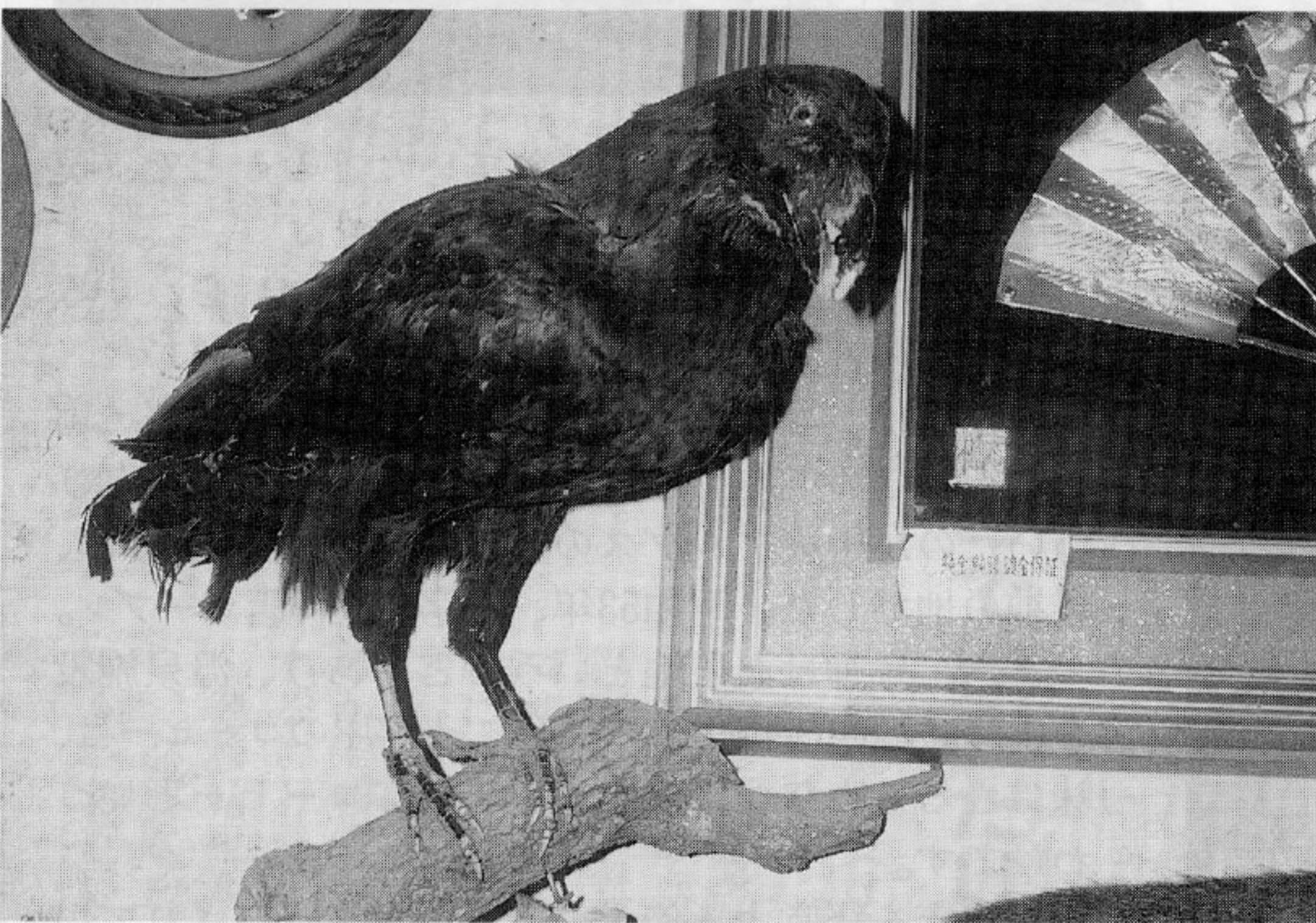


昭和5年当時のからす乃湯

中関からす乃湯は歴史が古く、古文書によれば、江戸時代以前に操業していた事実を散見できます。
現社長内田富雄

さんが、昭和四十五年に鉱泉権利を借用して開業されたことと、十三代目となります。こちらの鉱泉は、自然に涌出したもので「からす乃湯」の名称も、昔一羽のカラスが湧水で傷を癒していたことから命名されました。

写真は、昭和五年「松の湯」の名称で創業を続けていた時のもので、現在地とは、道を挟んで東側に建てられていたものです。
当時、子供の草かぶれ(皮膚病)などに効能があるとい



おしゃべりをしたカラスのはく製

うことで、飯田下伊那地区をはじめ、各地からの湯治客でたいへん賑わいました。
昭和四十七年、国鉄飯田中津川線の工事関係者の方が飼われていたカラスを頂いたことをきっかけに、それ以降、たくさんのカラスを飼育してきました。

その中でも、次にあげる二羽のカラスが、とても人なつこく、印象深かったそうです。
一羽は、言葉をししゃべるカラスで、ある日、お客様の一人が「この旅館には、ちょっと方言の違う仲居さんがいるね。」と訪ねられた程、よくしゃべるカラスでした。
一羽は「ガーク」という名前のカラスで、朝になると、お客様の戸をたたき、起こしてまわりました。また、「ガーク」と呼べば、人間に近づいて、肩にとまったりしました。
現在では、一羽もいなくなっ

てしまいましたが、「カラスは、からす乃湯にとって、かけがえのない家族の一員であり、また、お客様を喜ばせてくれました。」と、かなりかわまるほど懐かしそうに、内田社長夫妻は語ってくれました。

業績が認められ表彰

理事四名、婦人部役員六名
十一月二十七日、東京NHKホールにおいて開催された、

商工会連合会長より表彰されました。
また、十月二十一日、戸倉町において開催された長野県商工会大会の席上、婦人部の

中嘉治、井原忠亮の各理事が長年の業績が認められ、全国

原祥子副部長をはじめ、日比野千恵、小池芳子、小池知加

地ビール事業化断念

村と商工会で「阿智村工業の将来の展望について」平成五年に研究を始め、平成七年には、食品工業団地構想「ゆめくらかん」を提言いたしました。

ている事もあり、再度、旅館ホテル業者を対象にした事業化説明会を行ないましたが、地ビール事業化の方向性を見出すまでには至りませんでした。

子、中島敬子、田中きよみ、林きぬの各常任委員の皆さんが、業績を認められて、長野県商工会連合会長より表彰されました。

す。

以上の経過のとおり、今回の地ビール事業化は断念せざるを得ませんでした。

その後、食品工業団地の実現に向けて、村・商工会ともども智慧を絞ってまいりました。

よくいわれる事ですが、企業経営には「人（人材）・物・金」が必要であると言いますが、「物・金」に対しては出資あるいは、資本参加という形で協力したいと考えている方もおりましたが、「人（人材）」という分野では、先達あるいはリーダーシップを取る人（人材）がいないという経営の要の部分で、いき詰まっ

そこで本年度、「地ビール」を地元主導で事業化するよう、商工会が中心となって、説明会を開き、呼び掛けをしたところ、四個人・四法人の事業参加希望がありました。

また、昨今の景気の低迷、経済の先行き不透明な事も相乗し、意識の中で、この事業化に向けて不安視する部分も多分にあっただろうと思いま

この方々も、数回、事業化に向けて会議を重ねましたが思った方向に進まず、見送りとなってしまいました。

特に、この「地ビール」事業化については、昼神温泉の入り込み客を大きな市場とし

また、昨今の景気の低迷、経済の先行き不透明な事も相乗し、意識の中で、この事業化に向けて不安視する部分も多分にあっただろうと思いま

以上経過のとおり、今回の地ビール事業化は断念せざるを得ませんでした。

接客講習会のお知らせ

旅館業・飲食業の事業主・従業員を対象にした、恒例の接客講習会を下記により開催する予定です。

講評はリポーターの神太郎（じんたろう）先生をお招きし、「日本人のもてなしの心」「日本の食文化」について語っていただきます。

今回は接客といっても「食文化」の中から、日本全国うまいもの巡りをしながら見た、日本人のもてなしの心は何かということ、経験をもとに語っていただきます。

特に、調理関係者には有意義なお話であろうかと思っておりますので是非、ご出席下さい。

日 時	平成10年2月17日(火)	午後1時15分
場 所	昼神温泉観光センター	
テーマ	「まるかじり旅行記 ～グルメに学ぶ日本人の心～」	
講 評	リポーター 神太郎	



新春講演会・新年総会のご案内

新年に入り、新春講演会と新年総会の日程が下記のように決まりました。

講演会の講師には、テレビの「ジパングあさ6」で、辛口のニュース解説でおなじみの中村慶一郎先生をお迎えして、日本の政治を解説していただきます。

揺れ動く内外情勢、特に政治の経済に与える影響は大きいものがあります。

講演会終了後、会員の新年総会を行ないますので併せてご出席下さい。

日 時	平成10年1月16日(金)	午後1時15分
場 所	阿智村商工会館	
テーマ	「中村慶一郎の情報分析 これからどうなる？わが国の政局展望」	
講 師	ジャーナリスト 中村慶一郎 先生	



信金だより

しんきんで給与振込をご利用いただいている皆様の特別ローン「リリーフ・エース」についてご案内いたします。

(1st) 金利が基準金利年3.275% (変動3年超、5年以内) 固定年4.5%更にお取引内容に応じ最大年0.6%まで優遇。最優遇金利年2.675% (変動3年超、5年以内) 固定は年3.9%、別途保証料1.55%が必要。

(2nd) 使いみちは自由ですが、事業資金は対象となりません。自動車・家具・教育・結婚・旅行等ライフステージのあらゆる場面を力強くサポートします。

(3rd) ご融資限度は10万円以上300万円以内で収入、ご返済負担等により一定の基準内とさせていただきます。

ご利用いただける方、申込時必要書類、ご融資利率につきましては、窓口、担当者におたずね下さい。

Windows95

商工会のパソコンで情報の収集を

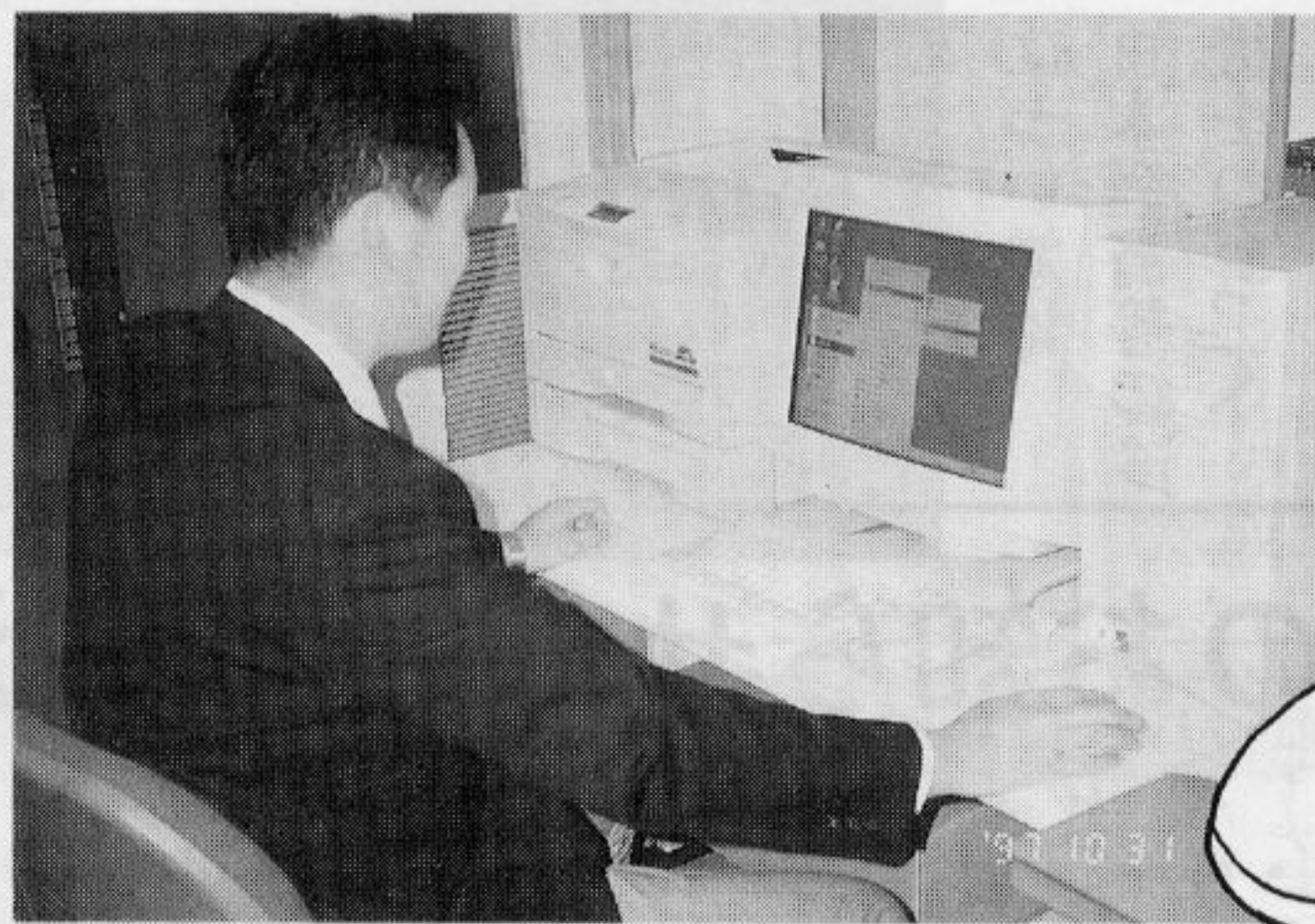
世の中は今、インターネットをはじめとしたマルチメディアネットワークなどの急速な発達により、高度情報化社会となっております。

商工会はもとより、中小企業者にとっても情報化社会への対応は避けて通れない状況です。また、これらの情報メディアを活用し、外部への積極的な発信と、タイムリーな情報の収集を行うことが重要となっております。

これに伴い、商工会でも10月22日、ウィンドーズ対応パソコン(機種=富士通FMV)が設置され、同時にインターネットにも対応できるようになりました。

商工会では今回、ホームページを開設し、地域商工業や観光・特産品等の情報を発信していく予定です。

つきましては、商工会ホームページへの掲載や、既に開設されているホームページへのリンク等におきましても、ご一報いただければと思います。また、「こんなホームページが見たい」、「こんな情報がほしい」等のご希望がありましたら是非商工会へお立ち寄りいただき、自分の手でインターネットに触れてみてはいかがでしょうか。



何れにしても、より多くの会員の皆様に商工会のパソコンを利用していただきたいと考えております。

編集後記

会員の期待に応える、商工会の機能改善の一環として、村当局の理解と援助を受けながら、会館の一部が改修される。履物のままで、

「長野に雪よ、降れ!!降れ!!」と祈る気持ちは、県民等しいところであろう。

今年、稀にみるエルニーニョ現象の発生とか……日本は暖冬で、生活には過し易いと思うが……反面、長野五輪の降雪が憂慮される。

暗いニュースが続いた本年も、早や十二月となる。ここに至っての十一月のエジプトの惨事は、全世界の怒りをおぼえる。景気も回復の兆しも見えぬまま、残りわずかとなった。願わくば平穏な翌年でありたい。

編集委員長 荒井利典

気軽に立寄れる「カウンター形式」そして、何時でも外部に気兼ねなく、職員と個別に話し合える「相談・指導室」会員皆さんの更なる利用に期待をしたい。

- 十一月十六日(日)に商工会館で実施した、第一百七回全国商工会珠算検定試験の合格者は次の皆さんです。
- 二級 小松あらた 芦澤裕子 田中綾 松下秀美
- 三級 小池紗恵子 中村真理子 原彩子 大嶋千夏 園原直樹 濱島知世
- 四級 小松純希 原洋子 瀨瀬彩乃 熊谷優
- 五級 佐々木翔伍 北澤薫 市村浅美 雪丸斗茂 美
- 六級 内田翔貴
- 七級 木下聡志 山本なつき 村上綾 中島礼雅 陣内遥香 原真菜実 田中亜希奈 大島佐恵子 熊谷萌々 熊谷啓助 田中将貴 小笠原唯加 熊谷美和子 木下恭彦

今回の受験者は百三名、合格率は三二%でした。七級の田中亜希奈さんは、満点合格でした。次の検定試験は、平成十年二月十五日です。

珠算検定合格おめでとう